

★平成25年度調査と比較して、就学前児童保護者・小学生保護者ともに、**就労している母親の割合が増加し、それに伴って共働き家庭が増加**している。

★また、就学前児童の母親については、**パート・アルバイト等からフルタイムへの転換を希望している者や現在未就労だが今後就労を希望している者の割合が増加**している。



保護者の就労状況の変化の影響

★平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「**認定こども園**」の利用の割合が増加し、今後の利用意向でも、「**認可保育所**」「**認定こども園**」の割合が増加。

★**土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望者の増加**。

★子どもが病気の際、**両親のいずれかが仕事を休んで対応する割合の増加**。

★就学前児童・小学生ともに、放課後の過ごし方の状況・希望について、「**放課後児童クラブ**」の割合が増加。

I 就学前児童保護者調査

1. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

★就労している母親の割合が増加。それに伴う共働き家庭の割合が増加。

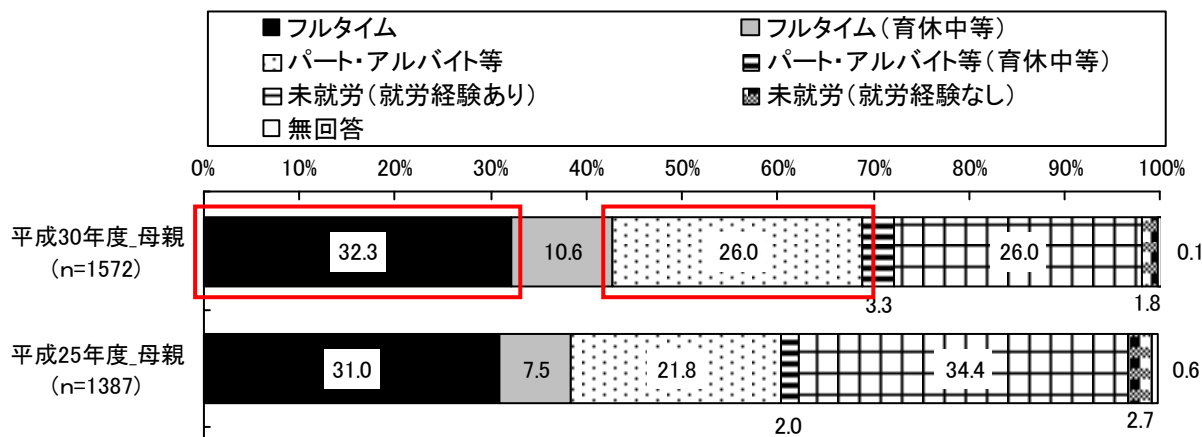
★パート・アルバイト等の母親のうちフルタイム希望者の割合が増加。

★未就労の母親のうち、今後、就労意向のある者の割合が増加。

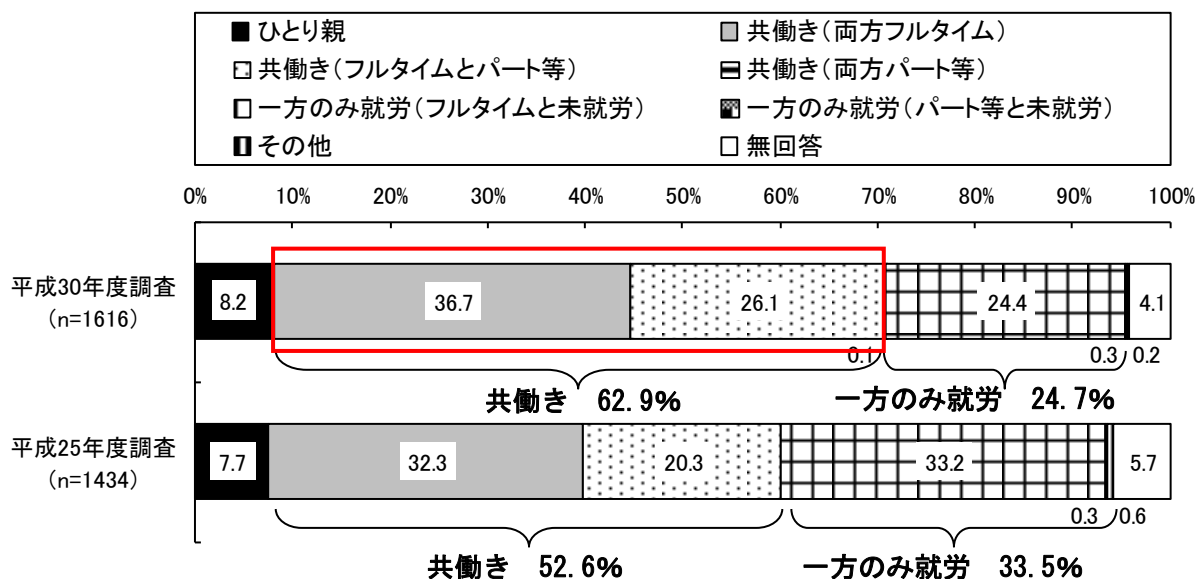
**⇒女性の就業率が今後高まり、保育ニーズが増える可能性**

- 平成25年度調査（以下、前回調査）と比較して、フルタイムやパート・アルバイト等の就労している母親の割合が増加している。それに伴って、共働き家庭の割合が増加している。

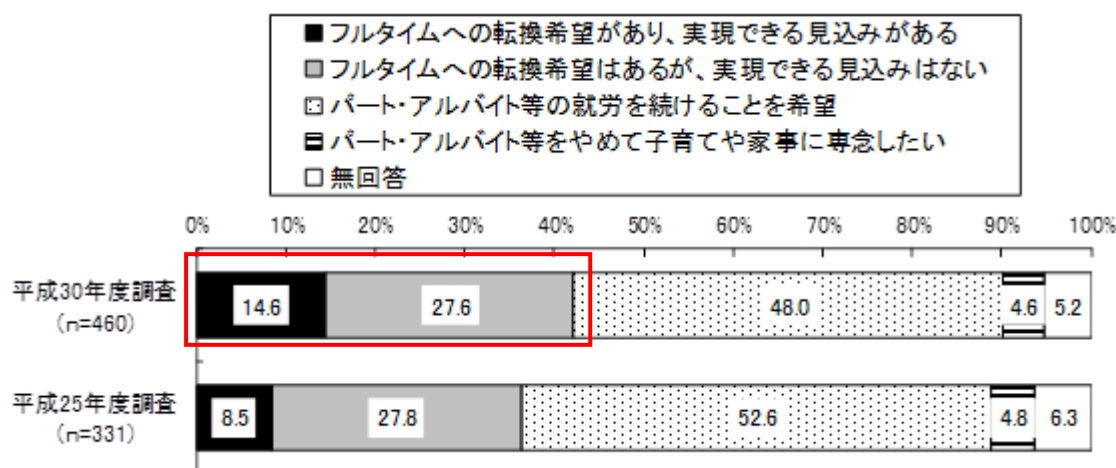
【母親の就労状況】



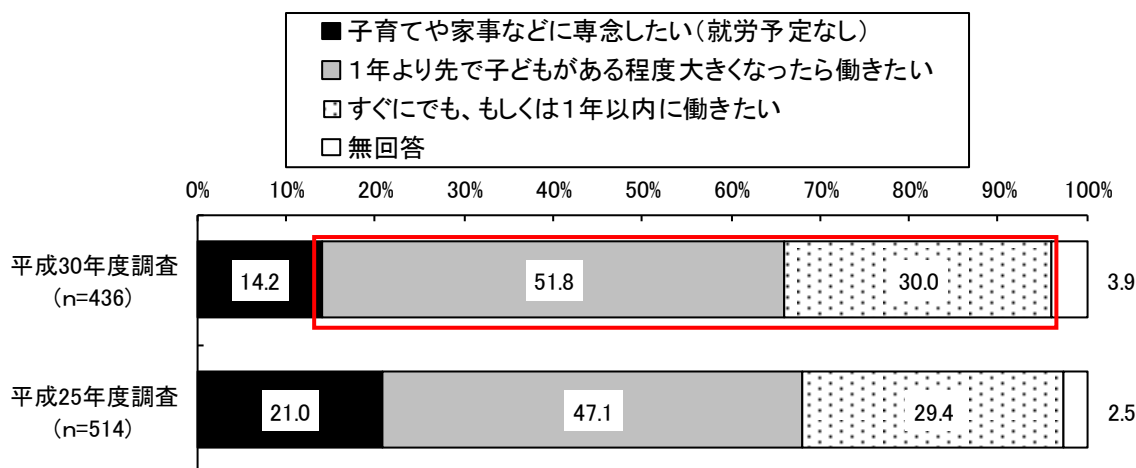
【保護者の就労状況】



- パート・アルバイト等で就労している母親のうち、フルタイムへの転換希望者の割合が増加しており、そのうち実現できる見込みのある者の割合も増加している。



- 未就労の母親のうち、今後、就労意向のある者の割合が増加している。



## 2. 教育・保育事業やその他の子育て支援事業の利用状況・利用意向

### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

★前回調査同様、約7割が平日の定期的な教育・保育事業を利用。

★利用している事業の種類は、「幼稚園（預かり保育なし）」の割合が減少し、「認定こども園」の割合が増加。

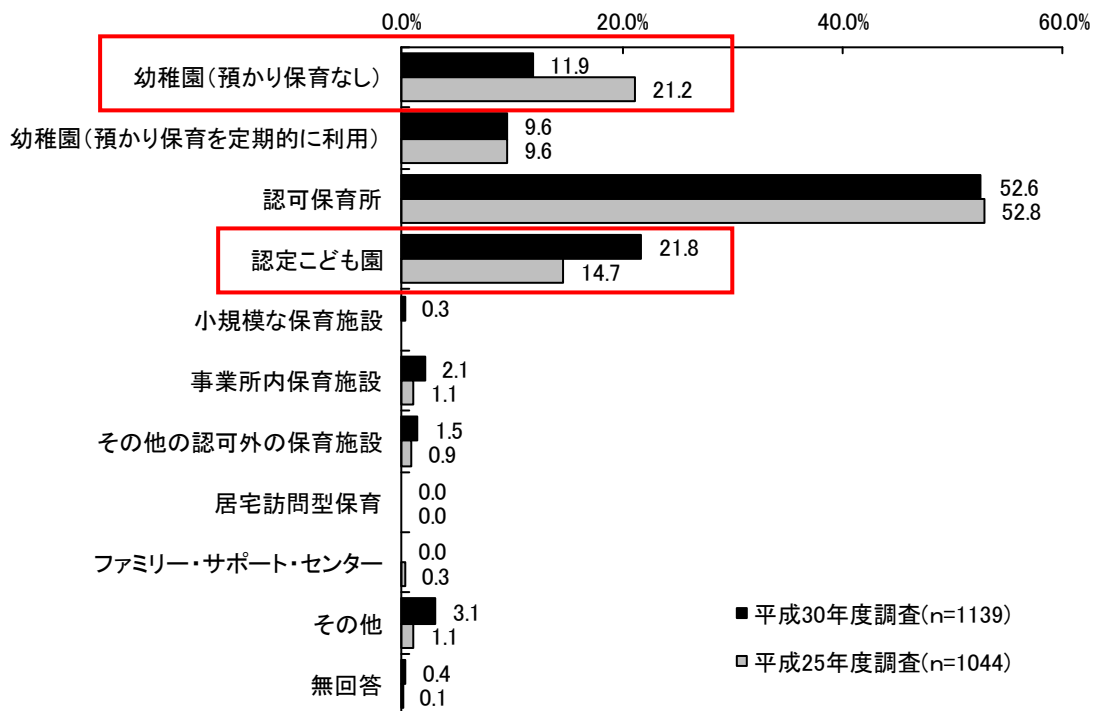
★平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている人が現在就労している」の割合が増加。

⇒就労している母親の増加が影響している可能性

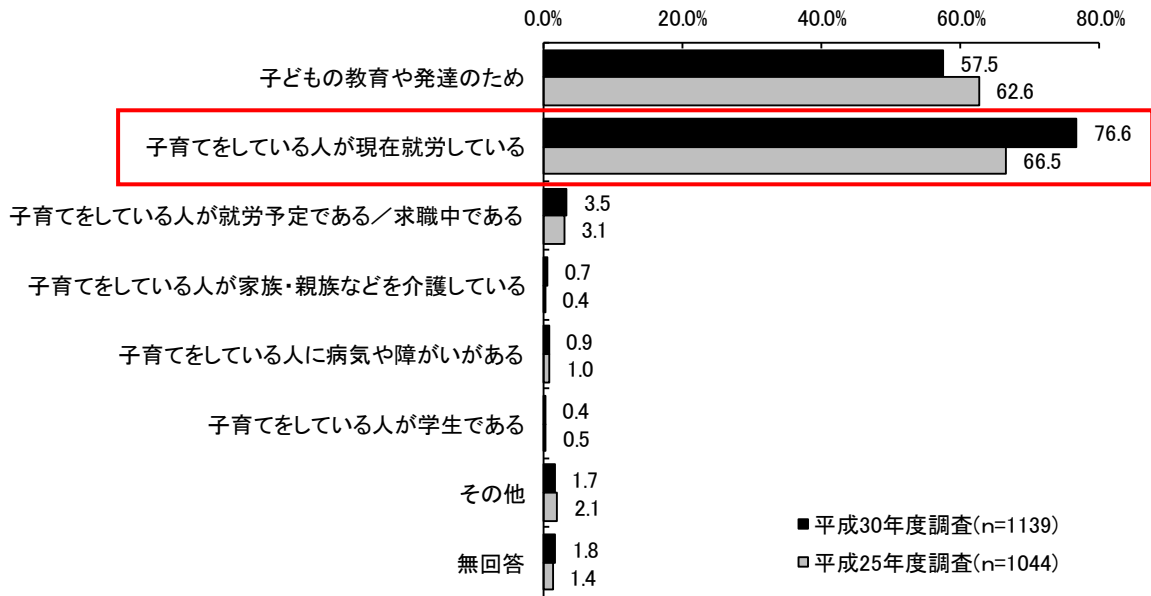
★平日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「認可保育所」「認定子ども園」の割合が増加。

⇒就労している母親、フルタイムへの転換希望のある母親、就労意向のある母親の増加の影響で「認可保育所」「認定こども園」のニーズが高まっている可能性

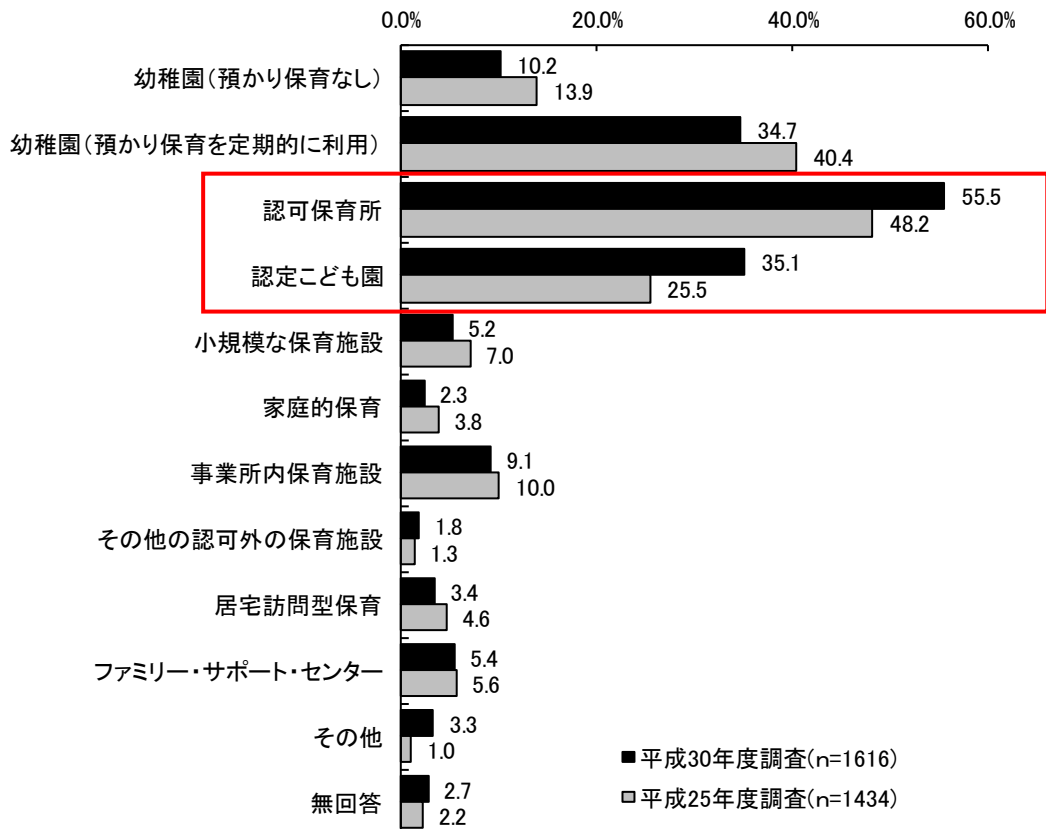
- 7割の世帯が、平日の定期的な教育・保育事業を利用しており、前回調査と比較して、「幼稚園（預かり保育なし）」の割合が減少し、「認定こども園」の割合が増加している。



- 平日の定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている人が現在就労している」の割合が増加している。



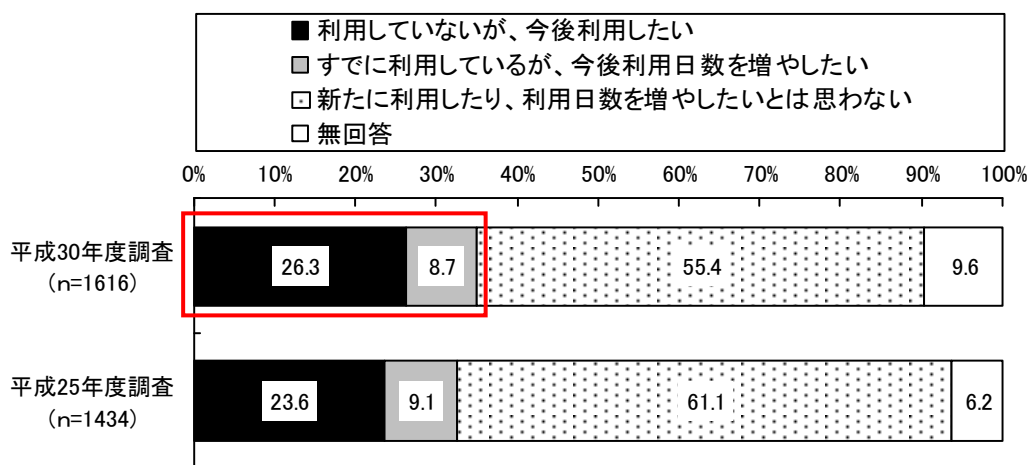
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向は、「認可保育所」「認定子ども園」の割合が増加している。



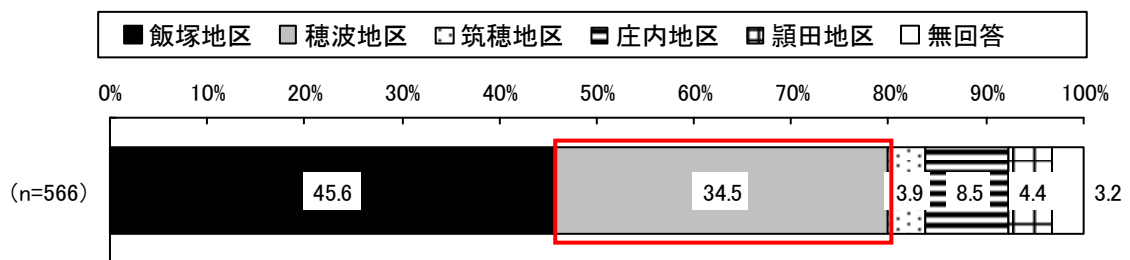
(2) 地域子育て支援拠点事業、その他の子育て支援事業

- ★地域子育て支援拠点事業の利用者は2割強。
  - ★地域子育て支援拠点事業の利用希望者の割合は3割強で、前回調査と比較してやや増加。
  - ★子育て支援センターを最も利用したい地区は、現在子育て支援センターが設置されていない穂波地区で3割強。
- ⇒穂波地区でも一定の利用ニーズが見込まれる
- ★飯塚市子育てガイドブック、いづか子育て情報誌「すくすく」の認知度は向上したが、その他の子育て支援事業は低下。

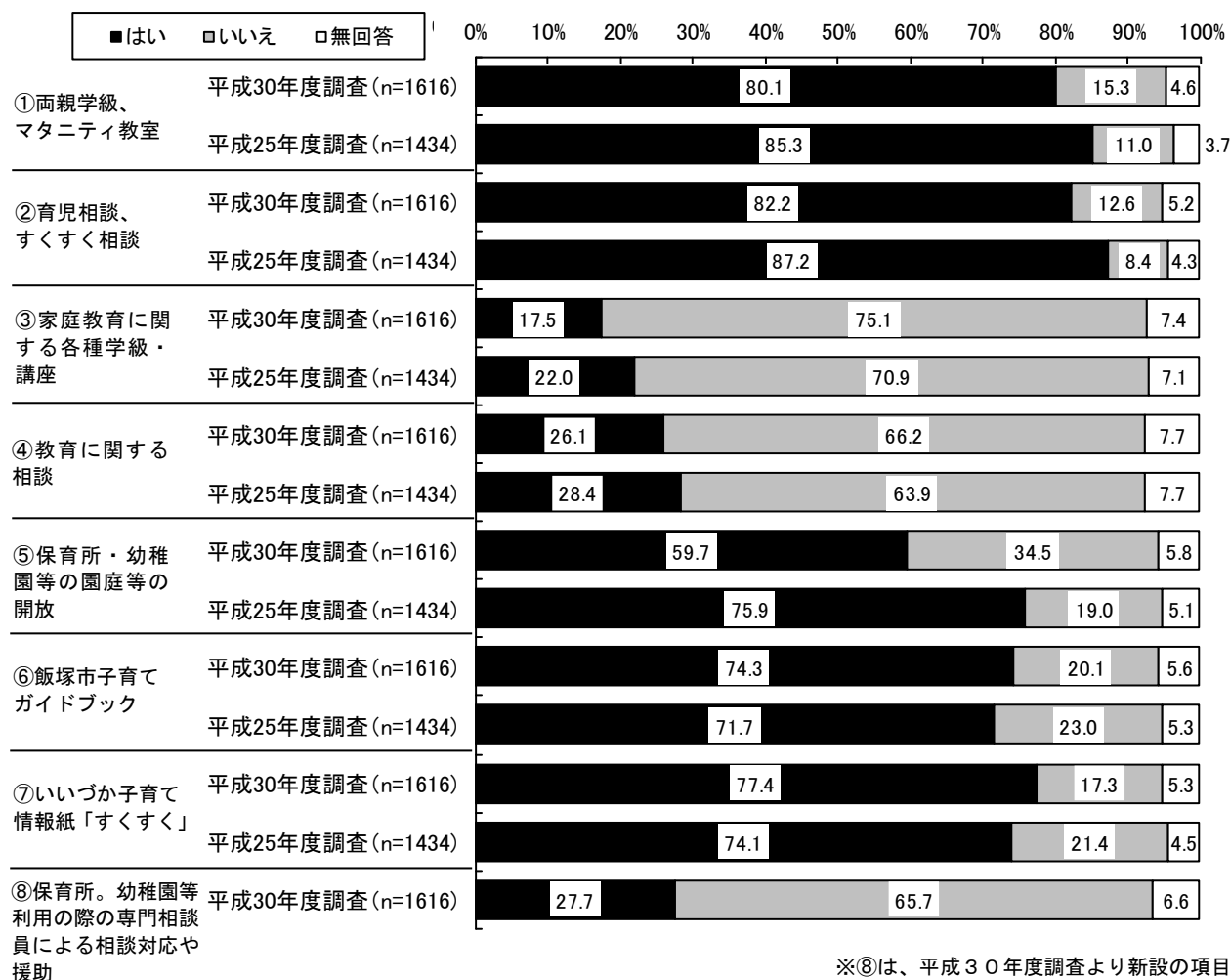
- 前回調査と比較して、地域子育て支援拠点事業の利用希望者の割合がやや増加している。



- 地域子育て支援拠点事業を新たに利用したい人・利用を増やしたい人に対して、子育て支援センターを最も利用したい地区をたずねたところ、飯塚地区、穂波地区の割合が高く、現在子育て支援センターが設置されていない穂波地区でも一定の利用意向がみられる。



- 前回調査と比較して、飯塚市子育てガイドブック、いづか子育て情報誌「すくすく」の認知度は向上したが、その他の子育て支援事業は低下している。

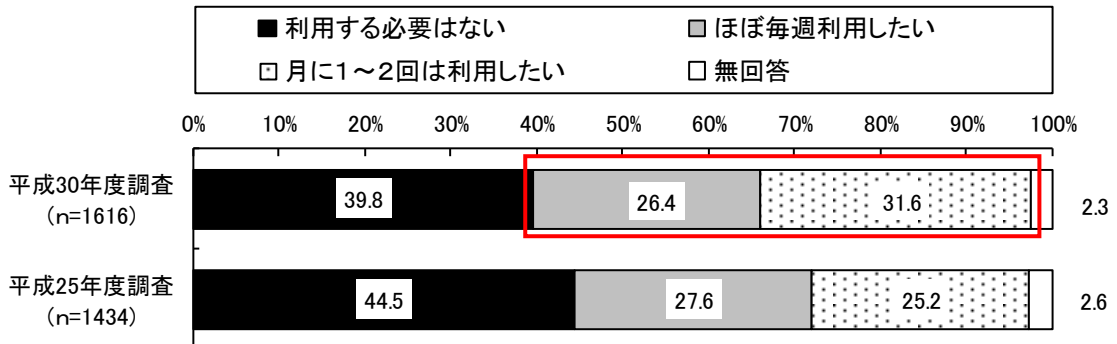


### (3) 土曜・休日、長期休暇中の教育・保育事業

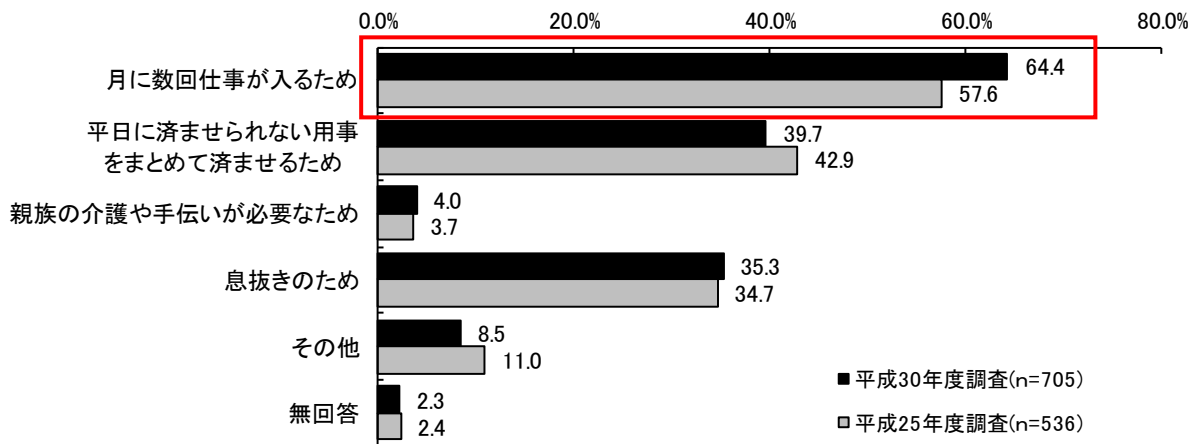
- ★土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望者の割合が増加。(日・祝日の利用希望者は、前回同様、2割強。)
  - ★土曜・休日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい人の理由は、「月に数回仕事が入るため」の割合が増加。
  - ★幼稚園利用者のうち、長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望者は、前回同様7割弱。
  - ★幼稚園利用者のうち、長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい人のその理由は、「週に数回仕事が入るから」の割合が増加。
- ⇒就労している母親および共働き家庭の増加が影響している可能性

- 前回調査と比較して、土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望者の割合が増加している。月に1～2回は利用したいと回答した者の理由としては、「月に数回仕事が入るため」の割合が増加している。

【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

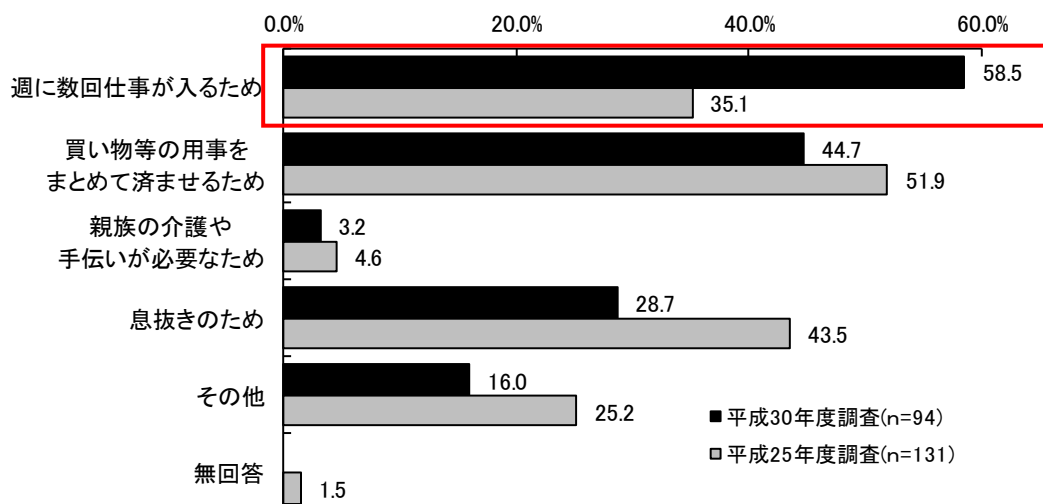


【土曜・休日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由】



- 幼稚園利用者のうち、長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望者の割合は、前回同様、7割弱である。週に数回利用したいと回答した者の理由としては、「週に数回仕事が入るため」の割合が増加している。

【幼稚園利用者が長期休暇中の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由】



(4) 平日の定期的な教育・保育事業利用者の病気の際の対応

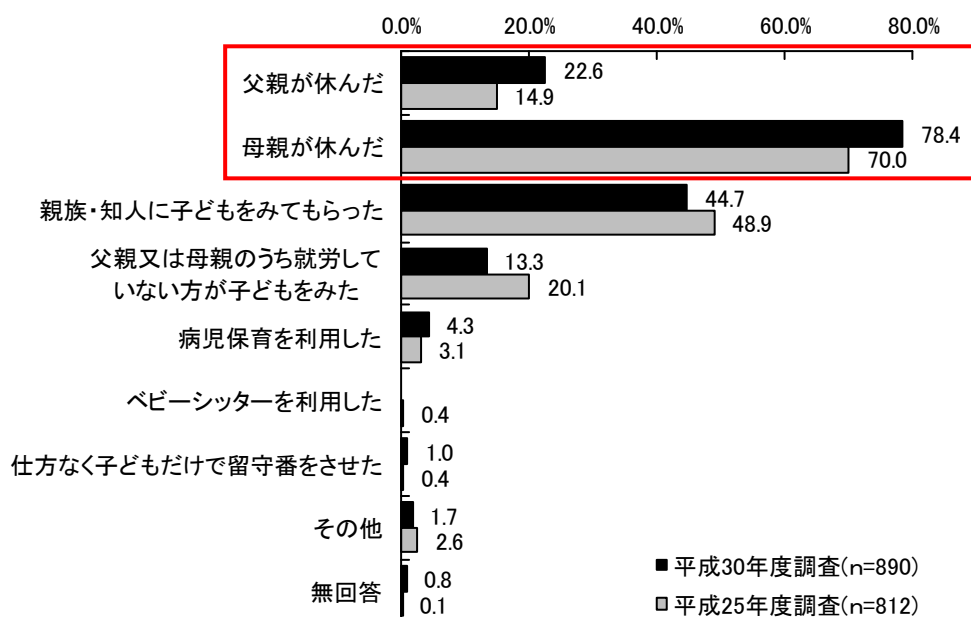
★平日の定期的な教育・保育事業の利用者のうち、前回同様、8割弱が子どもの病気等のために事業を利用しなかった経験がある。

★事業を利用しなかった場合の対処法は、「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加。

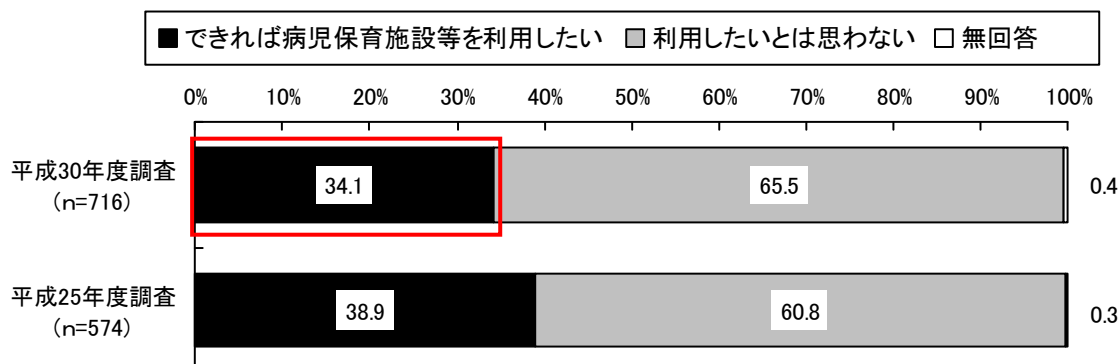
⇒就労している母親および共働き家庭の増加が影響している可能性

★子どもの病気等で事業を利用しなかった経験のある者のうち、病児保育の利用希望者は減少。希望しない理由は「保護者が仕事を休んで対応する」の割合が増加。

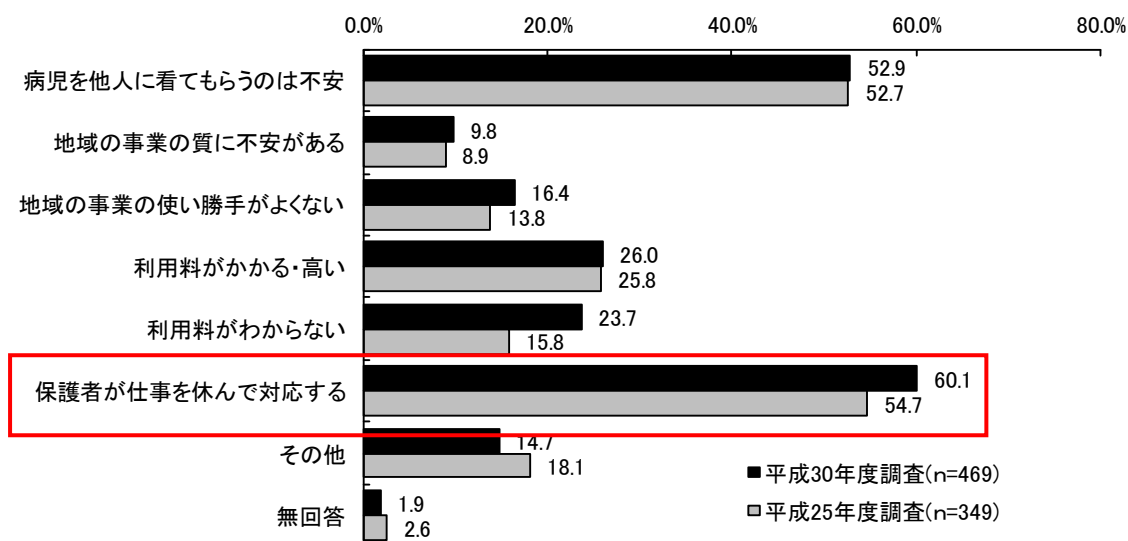
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用者のうち、8割弱が子どもの病気等のために事業を利用しなかった経験があり、その対象方法としては、前回調査と比較して「父親が休んだ」「母親が休んだ」の割合が増加している。



- 前回調査と比較して、子どもの病気等で事業を利用しなかった経験のある者のうち、病児保育の利用希望者は減少している。利用したいと思わない理由としては、「保護者が仕事を休んで対応する」の割合が増加している。







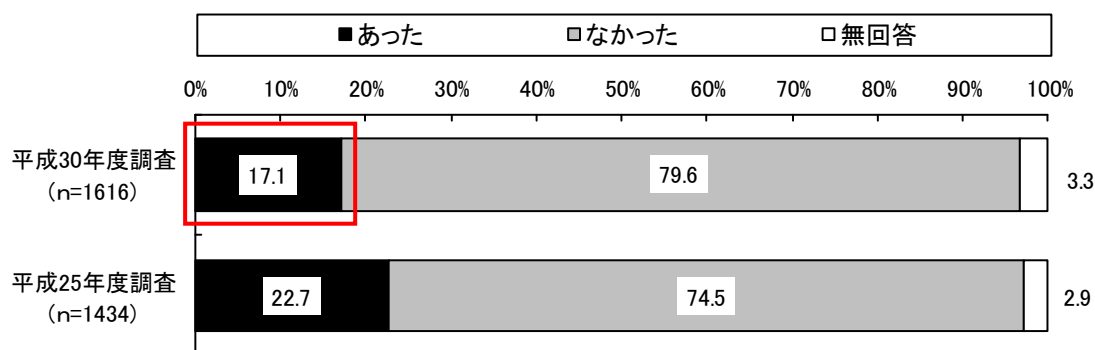
(5) 不定期の教育・保育事業

- ★不定期の教育・保育事業の利用状況は、前回同様、8割強が利用していない。
- ★今後の不定期の教育・保育事業の利用希望者も、前回同様、3割強。

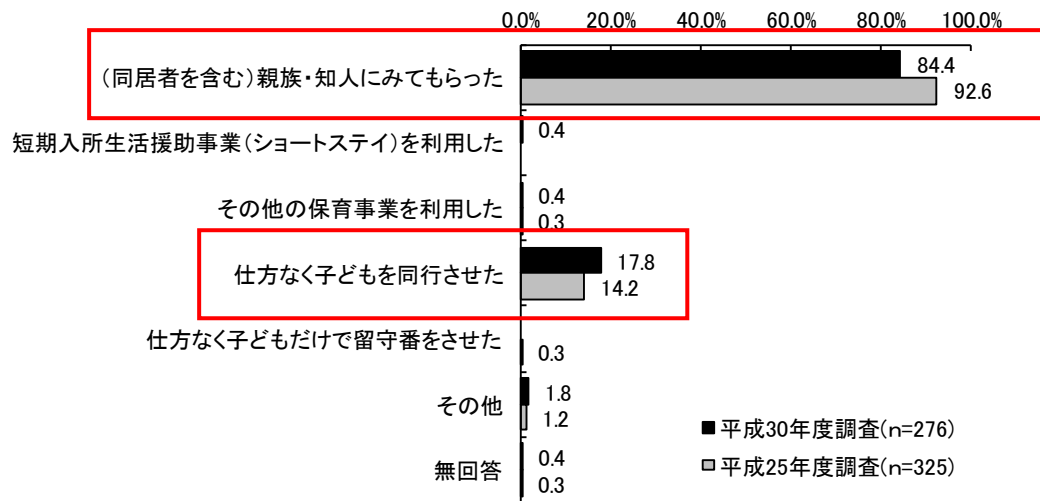
(6) 宿泊を伴う一時預かり

- ★泊りがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験がある者の割合は、減少。
- ★泊りがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験がある者のうち、その際の対処方法は「親族・知人にみてもらった」の割合が減少、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が増加。

- 前回調査と比較して、泊りがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験がある者の割合は、減少している。



- 泊りがけで子どもを家族以外に預けなければならなかった経験がある者のうち、その際の対処方法としては、「親族・知人にみてもらった」の割合が減少し、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が増加している。



### 3. 就学後の放課後の過ごし方

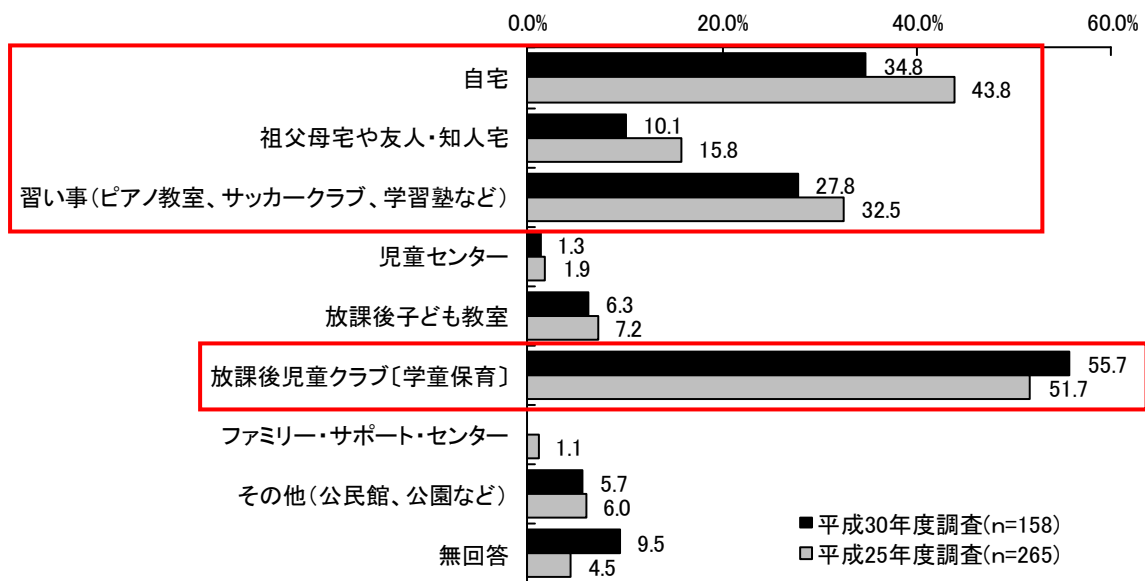
#### (1) 就学後の放課後の過ごし方の希望 (5歳児)

★低学年時 (小学1～3年生) の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少、「放課後児童クラブ」の割合が増加。

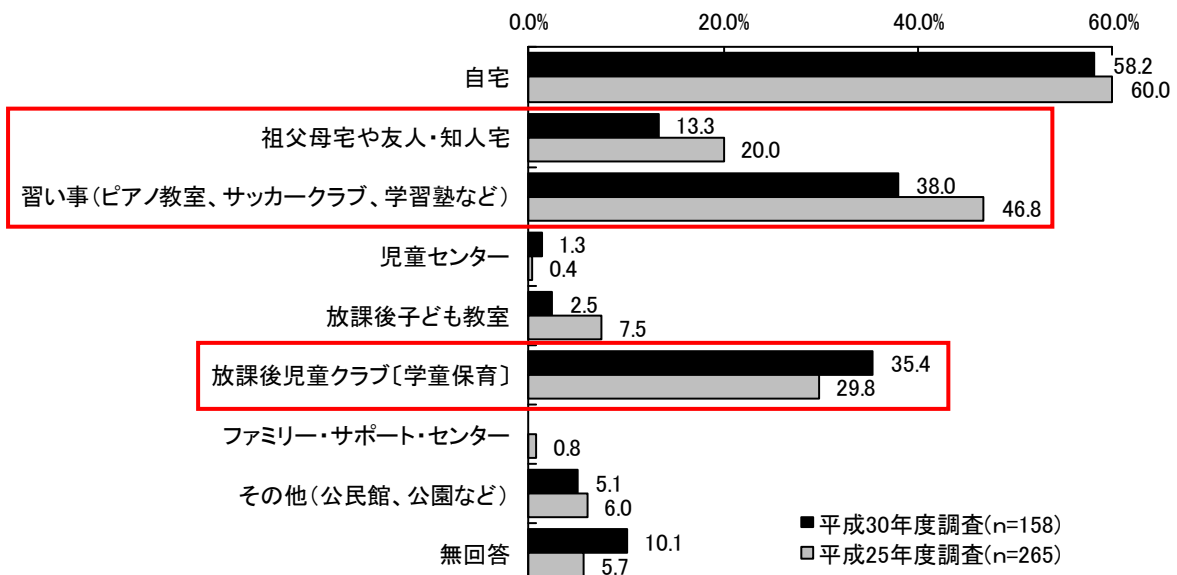
★高学年時 (小学4～6年生) の放課後の過ごし方の希望は、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少、「放課後児童クラブ」の割合が増加。

⇒就労している母親および共働き家庭の増加が影響している可能性

- 前回調査と比較して、低学年時 (小学1～3年生) の放課後の過ごし方の希望は、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少し、「放課後児童クラブ」の割合が増加している。



- 高学年時 (小学4～6年生) の放課後の過ごし方の希望については、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少し、「放課後児童クラブ」の割合が増加している。



## II 小学生保護者調査

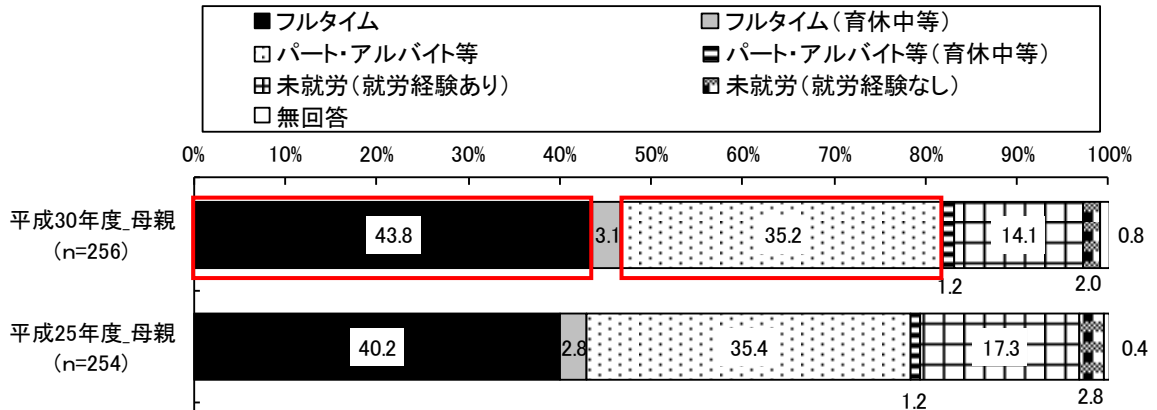
### 1. 保護者の就労状況

#### (1) 保護者の就労状況

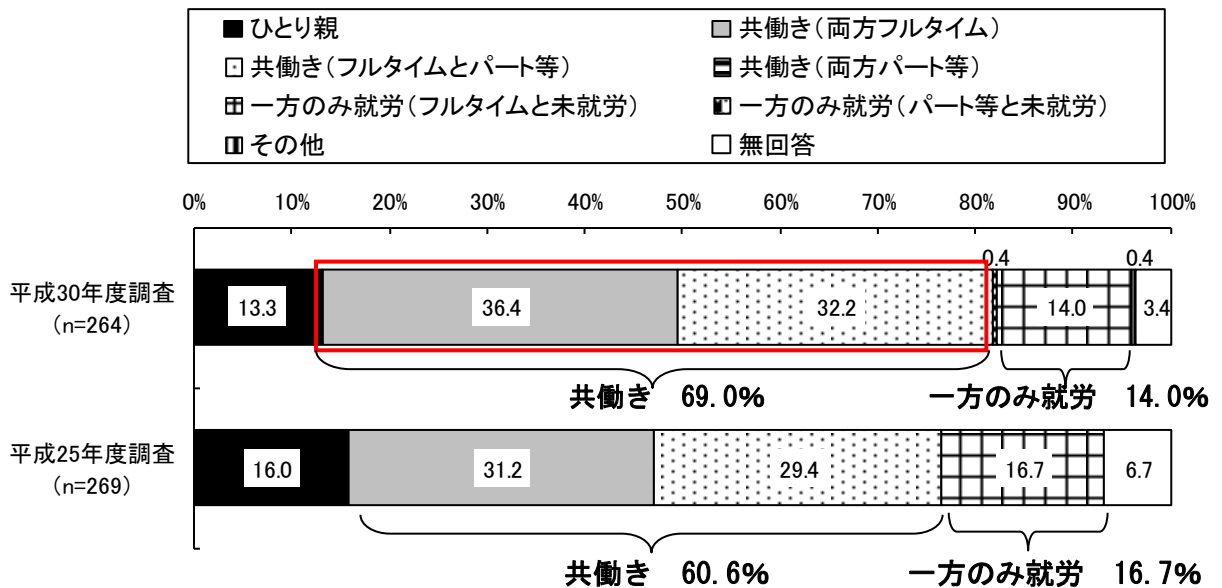
★就労している母親の割合が増加。それに伴う共働き家庭の割合が増加。

- 平成25年度調査（以下、前回調査）と比較して、フルタイムやパート・アルバイト等の就労している母親の割合が増加している。それに伴って、共働き家庭の割合が増加している。

【母親の就労状況】



【保護者の就労状況】



## 2. 放課後の過ごし方

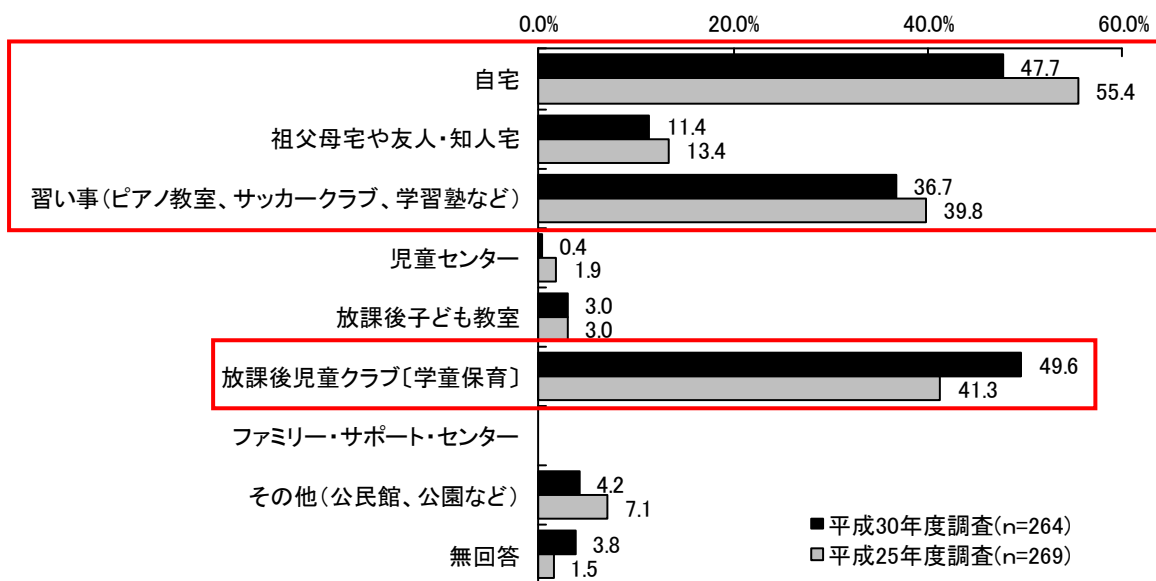
### (1) 放課後の過ごし方の状況、今後の希望

★現在（小学1～3年生）の放課後の過ごし方の状況は、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少、「放課後児童クラブ」の割合が増加。

★今後（小学4～6年生）の放課後の過ごし方の希望は、「習い事」「放課後児童クラブ」の割合が増加。

⇒就労している母親および共働き家庭の増加が、放課後児童クラブの利用者・希望者の増加に影響している可能性

- 現在（小学1～3年生）の放課後の過ごし方の状況は、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」の割合が減少し、「放課後児童クラブ」の割合が増加している。



- 今後（小学4～6年生）の放課後の過ごし方の希望は、「習い事」「放課後児童クラブ」の割合が増加している。

